

宝小学校だより

ななさと

宝小学校学校だより
NO17

平成27年12月3日(木)
文責 小俣 一夫

子どもたちの自己肯定感を育てたい！ Part3

運動会が終わった10月に今年度2回目の「自分についてのアンケート」を実施しました。集計結果は下の比較表（1回目と2回目の比較）と裏面の各学年ごとの一覧表のとおりです。実施したこの時期は、一人一人が運動会という大きな行事をやり遂げ、学級としての協力やまとまりというチームワークも高まり、一人一人の満足感や達成感、充実感を感じることでできた時期だったと思います。運動会という一つの目標に向かって内容を計画したり、練習に取り組んだり、多くの友だちとかかわり合う活動を通して、その中で自分の成長を実感したり友だちに認められる経験をしたりすることで、自己肯定感はある程度高まっていると思われます。

しかし、子どもたちの「自分についてのアンケート」は、「そう思う」という上位群の変化が多少あっただけで「だいたいそう思う」という中位群のほとんどは変化がないという結果でした。特に、6年生の満足度の低いことが気になります。今回の結果を分析すると、自分の良さを気づけるような場面において、子どものよさを見つけること、よさを認めて言葉に出してほめること等の指導の場面での言葉かけが足りなかったこと、成長によって自分を謙遜する感情や自分のことを褒めることに対する恥ずかしさが高学年にいくほど、予想以上に高まっていたことなどが関わっているのではないかと考えます。

また、運動会後の子どもたちから、誰かに向けて表現する活動を行い、できるようになったことを人に伝え評価してもらうことは、自分の心情や態度を見つめ直すのにとっても有効であることも確認することができました。

今後も日々の生活の中で子どもたちが自信と誇りをもち、生き生きと生活する姿が見られ、自分ことが好きである児童が一人でも増えていくことを願い、指導を継続していきたいと思えます。



仲良し2人組の2年生

(単位は%です。)

平成27年度 第1・2回の比較	そう思う		だ そ い う た い そう 思う		あ そ ま う り 思 わ な い		そ う 思 わ な い	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回	1回	2回
自分についてのアンケート								
第1回目 H27.5								
第2回目 H27.10								
1. 自分のことが好きですか？	29	44	49	30	15	21	6	5
2. 自分は人から必要とされていると思いますか？	35	36	43	35	17	24	5	5
3. 自分にはいいところがたくさんあると思いますか？	29	30	51	39	16	24	4	7
4. 自分は目標に向かって努力していると思いますか？	56	61	33	26	8	10	3	3
5. 誰かのために何かをしたいと思いますか？	75	79	19	11	5	7	1	3
7. あなたは自分の長所を増やそうと思いますか？	62	61	27	21	8	13	2	4
9. 自分について変えたいと思うことがありますか？	40	42	45	29	8	11	7	19
10. 人の前で話をすることに自信がありますか？	31	34	34	30	25	21	10	15
11. 現在の自分に満足していますか？	30	23	37	38	23	17	10	22
12. 「あの人は頑張っている」と思える人がいますか？	75	77	22	18	2	2	2	3
13. まわりからいつもいい人だと思われたいですか？	40	44	41	25	15	15	4	16
14. あなたのすることをわかってくれる人がいますか？	49	48	38	25	8	20	5	7
15. あなたの話をよく聞いてくれる人がいますか？	52	54	34	32	10	11	3	3
16. 自分の気持ちをわかってほしいと思いますか？	28	50	25	42	23	18	6	7
17. 人からほめられると、素直にうれしいですか？	57	61	35	27	6	9	12	2
18. 他の人からどう思われているか気になりますか？	49	48	25	23	14	15	12	15
19. 話しかけてくれる人がいなく悲しいと思いますか？	10	11	18	17	28	30	44	43
20. 人の期待に応えられるよう考えて行動しますか？	50	43	40	39	12	12	2	2

自由記述

問6. あなたの良いところはどんなところですか？

- その場の雰囲気明るくできる。6人
- 勉強やスポーツ、習い事（習字やピアノなど）をがんばっている。読書量が多い。33人
- 運動会を頑張った。8人
- いつも笑顔でいるところ。元気。17人
- 友だちに親切にしたり、協力したり、助けたりして仲良くできるところ。29人
- 納得いかなかったり、頭にきたときにも、場面に応じてガマンができる。1人
- 人に対する気配りができる。3人
- 基本的な生活習慣に関わったこと。31人
 - ・姿勢がよく集中力がある。・あいさつや返事ができる。
 - ・学校や家で、そうじや手伝いができる。
 - ・きれいな字が書けるように努力している。
 - ・ものを大事にできる。
 - ・忘れ物をなくすよう努力している。
 - ・好き嫌いなく何でも食べる。給食の完食。
- 取り組みに対する真剣さや責任感がある。8人
- みんなをまとめるようなリーダーシップがある。3人
- いろいろなことに挑戦（努力）する気持ちがある。5人



←集中力して
ガンバる
3年生



(5年生)
祖父母教室の一コマ→

問8. あなたのあまり良くないところはどんなところですか？

- 家であまり勉強しないところ。7人
- 家で勉強してもよくわからないことが多いところ。3人
- 基本的な生活習慣に関わったこと
 - ・頼まれたことを忘れて、忘れ物が多かったりする。忘れ物やうっかりしたミスが多い。10人
 - ・兄弟や父母、友だちとケンカをしてしまう。親に言われるとすぐに切れてしまうところ。7人
 - ・ちょっとしたことがガマンできずに、ケンカをしてしまう。5人
 - ・字が雑だったり、きれいな文字が書けなかったりするところ。7人
 - ・遊んでいて睡眠時間が少なくなってしまうところ。起床時間が遅い。3人
 - ・みんなの前で、自分の考えがはっきり言えないところ。声が小さいところ。5人
 - ・けじめのないところ。2人
 - ・言葉づかいが悪いところ。2人
 - ・計画的に物事に取り組めない。時間が守れない。マイペース。3人
 - ・いろいろな取り組みを面倒くさがる。身の回りの整理整頓ができない。3人
- 性格がめんどうさいところ。文句を言う。ぐずる、ふてくされる。泣き虫。9名
- 人のいやがることをしてしまう。
 - ・兄弟げんか いじわるやうそ。5人
 - ・自己中心的な行動。6人
 - ・悪口を言う。言葉づかいが悪い。バカにして笑う。10人
- 家で叱られることが多い。2人
- 集中力が長続きしない。自分勝手な行動をとる。人の話を聞いていないことが多い。8人

このアンケートから読み取れること

- 自分のことが好き+まあまあ好き・・・という児童が約75%いる。
- 自分は必要とされていると思っている児童が70%いる。
- 自分にはいいところがたくさんあると思っている児童が70%いる。
- 自分は目標に向かって努力している児童が約90%いる。
- 人のためになることをしたいと思っている児童が90%いる。
- 6年生の自分に対する自己肯定感が極端に低い。
- まわりにはとても頑張っている人がいると思っている児童が90%いる。
- あなたの話を聞いてくれ、することを理解してくれる人がいる児童が70~85%いる。



うさぎが5羽生
まれました。学校
でも増えて、ちょ
っと困っていま
す。飼ってみたい
ご家庭がありまし
たら、学校まで連
絡して下さい。
(教頭まで)

自己肯定感

自己肯定感とは、自分には価値があり、尊敬されるべき人間であると思える感情のことであり、自己肯定の高い人は困難に出会っても粘り強く努力できるが、低い人はすぐに諦めてしまう傾向があるといわれています。

一般に自己肯定感が高い子どもは、自分自身に対してばかりでなく、他者に対しても寛容になれ、学校での集団行動にもうまく適応できる傾向にあります。逆に低い子どもは、不安感が強くやる気や意欲の減退傾向が見られ不登校やいじめの要因になったりするケースも見られます。